

【緑地の樹】

ユキヤナギ（雪柳）

西緑地の花広場にゆきやなぎが植わっている。春になると、細い枝いっぱい沢山の白い花を咲かせる。その姿が柳の枝に降り積もった雪のようにみえることから、この名前が名付けられたそう。満開のゆきやなぎを見て、いとしい人とのときめきの出会いを歌にした歌手もいた。

2月初め、柔らかな光に包まれて、米粒の形をした小さな緑の葉が重なるように生まれてくる。3月初めに、霧雨のなかゆきやなぎを見にいくと、米粒のように揃っていた葉は一回り大きく育って

プロフィール：バラ科シモツケ属
花広場に植わっています。

いた。じっと見つめていると、透明な雨の水滴が小さな小さなつぼみの上に帽子のように乗っかっている。ど



のつぼみも雨水の帽子をかぶりきらきらと輝いている。かわいい！ゆきやなぎの帽子は初めてだ。

3月中頃、5枚の花びらの小さな白い花がいくつも咲いていた。やがて満開になり、その後散った様はまるで小さな米（小米）をまいたように見えることから「ごこめばな」（小米

花）とも呼ばれている。

風に揺られている満開のゆきやなぎが、ピンクの桃の花とともに初春の息吹を感じさせてくれる。

（森田）